

鳥越啓介

contrabass

太田 剣

alto sax

2018 03月25日(日)

開場 14:30
開演 15:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 2800 円+2drinks order

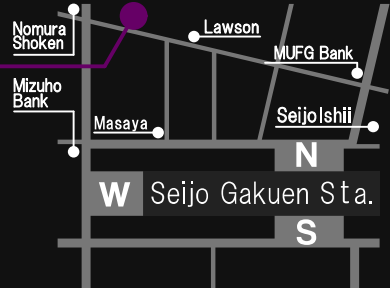
CAFE **B**EULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



鳥越啓介

岡山県玉野市生まれ。高校時代、吹奏楽部に入部しコントラバスを弾き始める。高校卒業後、社会人の傍ら地元のピックバンドなどで活動。96年脱サラ、97年上京。99年PHATのメンバーとなり、2001年東芝EMI Blue Noteレーベルよりメジャーデビュー。シングル1枚、アルバム2枚を残し、2003年渋谷クラブクアトロでのワンマンライブを最後に解散。その後は、ジャズ・邦楽・ポップス・タンゴ・ブラジル音楽などその豊かな才能を駆使し、国内のみならず海外公演も含め、自らのバンドを展開し、また様々なセッションやレコーディングに参加。繊細且つ大胆でハーモニーを感じさせるその演奏は、コントラバスという楽器の固定概念に捉われず、独奏楽器としての更なる可能性を追い求め、幅広い音楽活動を行っている。9月に初のDUOアルバム「木魂」が発売され、益々注目されるユニットとなっている。

太田 剣

1970年6月15日生まれ 愛知県渥美郡(現・田原市)出身。小学校でトランペット、中学校でテナーサクソ、高校でアルトサクソを手にし、雲井雅人氏にクラシック奏法のレッスンを受ける。早稲田大学でロシア文学を学ぶ傍ら、ジャズ奏法を池田篤氏に師事。渡米してケニー・ギャレット、ビンセント・ハーリングにも師事する。大学卒業後、国内ジャズ・シーンで頭角を現し、大坂昌彦(ds)カルテットのメンバーとして活躍。その後、TOKU(vo,flh)、小沼ようすけ(g)、Tommy Campbell(ds)、小林陽一(ds)らのバンドにも参加。2006年にCD"Swingroove(スウィングルーヴ)"でユニバーサル・ミュージックよりメジャーデビュー。Jazzの名門『Verve(ヴァーヴ)』レーベルからCDをリリースしたサクソ奏者としては、渡辺貞夫に続いて日本人2人目となる。同年、日豪交流年に際し、日本人とオーストラリア人のジャズミュージシャンで結成された日豪混合バンド『Japan-Australia Jazz Orchestra(JAJO)』に招聘され、日本&オーストラリア両国のツアーに参加。シドニーのオペラハウスでの演奏も好評を博す。Jazz Vocalist安富祖貴子のCDプロデュースや、矢沢永吉、平賀マリカなどシンガーのライブサポートなど、ジャンルを問わず幅広く活動している。2013年より故郷、田原市の「渥美半島ふるさと大使」に就任。